

# マリンストアニュース

YAMAHA MARINE STORE NEWS

No.55 '87-9

実践一番

熊本の川養殖市場に新登場  
大型和船・W-35AFに意気込み熱く

勢ぞろい

'88ヤマハニューモデル



# 実践一番

湖を思わせるほどに波静かな島原湾。遠くに雲仙岳を眺める熊本県宇土半島周辺の漁師さんは、のどかな風景とはうらはらに、ノリ養殖のシーズンを前にして、その準備に忙しい毎日をおくっています。今回の実践一番は、熊本県のノリ養殖市場に新しく登場する大型和船・W-35AFの導入と販売拡大に熱意意気込みをみせるへ坂本マリンさんを訪ねました。



へ坂本マリンの坂本さんと西山・田中・山田のスタッフのみなさん(左から)。



■表紙のひとこと■  
期待の新・大型和船、W-35AFは熊本県下の6ヶ所を1週間にわたってまわり、試乗会キャンペーンをくりひろげてきました。今日はその締めくくりの最終日です。会場は熊本市から北へ約20km、福岡県との県境も近い玉名の菊池川の河岸にある松尾鉄工さん。満潮時間に合わせて試乗会にいらした漁師さんと松尾さんにご登場いただきました。



# 大型和船にかける 意気込み熱く

● 熊本県宇土市野鶴町  
坂本マリン 坂本 巧さん



国道57号線に面してある「坂本マリン」さんの新店舗。工場の外壁には大きな看板がかけられています。

四方をぐるりと陸に囲まれた九州・島原湾。対岸との距離が一番近いのは、長崎県の島原半島と熊本県の天草諸島・下島間の早崎瀬戸で、その間わずか6km余。それを入口として島原湾、さらにその奥の有明海に続きます。

この海域は潮の干満の差が大きいことでも知られており、潮が引いたあとの泥の海を胸びれで歩くひょうきんな姿で人気のムツゴロウでも有名なところ。潮が引いてしまうと、岸壁に妨われた和船も、どっしりと浜に座っています。

島原湾に面した熊本県・宇土半島、海に沿った国道57号線をゆくと、そうした風景がどこまでも続きます。坂本マリンさんの新店舗が現在のところ完成したのはおととし、昭和60年6月のことです。ご主人の坂本巧さん（35歳）がご商売を始めたのは15年前のこと、自分の店を持ちたいという20歳からの念願がかなって、国道沿いの展示場を含めて300坪の店をつくりあげました。

「うちの顧客リストには約700名が載っています。だいたい業務が7、プレジャーが3の割合ですね」と坂本さん。3月半ばから8月半ばまでがアサリ採り、それからノリ養殖の準備、11月から翌年4月ごろまでがノリ摘みというサイクルが業務市場の主流です。アサリ漁とノリ養殖はひとつ同じ和船でおこなわれ、W-32F-1、W-35Fといったクラスがその多くを占めていました。

「年々沖に広がる漁場と、業務のいっそうの効率化のために和船の大型化が進んできました。ノリ養殖のときは作業をする箱船を載せてゆくためと、一度にたくさんノリを積むためにも大型和船が必要です。アサリのと

きは浅浮き（水深の浅いところでも船体が浮く）のする船という条件ではW-32、35といったところが好評で、多くの漁場で活躍しています」坂本マリンさんはこうして着々と販売隻数を伸ばしてきました。

熊本県西部の有明地区では32尺、35尺といった大型和船が人気を集め漁場の主流を占めてきましたが、W-35Fの販売を始めてすでに4年、ユーズアである漁師さんたちからいろいろ要望が出てきました。

漁師さんたちの要望、浜の声に耳を傾けてきたマリンストアさん（荒木マリン・小松野機械店・小宮鉄工・組協商会・坂本マリン・西浜商会・松尾鉄工所（敬称略・50音順）が集まり、それをまとめるための会議が開かれたのが昨年、昭和61年12月のことです。そのときに話されたご意見のなかでは船の幅と出帆のことが主でした。

## ①全幅を広くする

有明地区でおこなわれるノリ養殖では作業時に使う、いわゆる箱船を和船に積んでゆきます。和船の役割は、漁場との往復で、箱船を積み、摘みとったノリを積んで港に戻るといったように、積載と運搬が主なところといえるでしょう。そして漁場の沖への拡大ということと相まって、いっそう大きく、足の速い和船が求められているのです。しかし、樺木が並ぶノリ漁場（フリ畑）のなかで動きまわるには35尺が上限といえます。そうしたなか32尺、35尺クラスでより幅の広いものを、



という声が次第に大きくなってきました。

## ②出帆にする

W-32F-1、W-35Fといったこれまでの大型クラスも出帆したが、それよりもいっそう長いものにして、140馬力や150馬力の大型船外機が完全にチルトアップできるものにしてほしいというものです。

その他、①に関連して、船の幅は広すぎても使いにくい、②に関連して、出帆にしたためそのぶん重量が増し、浅浮きしないようには困る、後進時に艀から水が入らないように

# 人が集まる店は、情報受信基地

こうして浜の声をまとめたマリンストアさんたちの和船についての意見はヤマハ熊本に伝えられ、そして新型和船W-35AFの誕生へと繋がってゆきます。浜の声、漁師さんの意見に耳を傾けるマリンストアさんの日ごろの営業活動の実りともいえるでしょう。

「この新店舗も、何しろ人が集まる店にしたかった。おしゃべりにでも立ち寄れるような店に。国道沿いということもあってその狙いはまずまずです。浜を歩いて見たり聞いたりすることで情報を集めることももちろん大

する、船の全深さは従来艇のW-35Fと同じにとどめる、などの要望がまとめられました。

「漁師さんたちの声を聞くと、好評だったW-35Fを上まわる性能とすみずみにまで配慮のゆきとどいた新和船でなければ、市場導入はなかなかむづかしい。W-32、35の代替船としてのインパクトをもたせるために、外觀と性能の両面のどちらも充実したものでなければなりません」と当時を振り返る坂本さんです。

切ですが、それには限度があります。それよりも、お客さまの要望するノウハウや情報や技術などをこちらが持っているとするれば、お客さまのほうからこちらへやってくる。そこでお客さまの生の声を聞き、ニーズのヒントを拾えるとするればそのほうがたくさん量を集められるはずなんです。そのほうが私の性格に合っているということもあります」と坂本さんが話す間にも、店の玄関前には一台、一台と車が着き、入れ替りにお客さまが入ってきます。それではお客さまの欲しがっているノウハウ

ウや情報とはなんでしようか。

「自分が船が好き、機械が好きで始めた商売、いまだに自分が乗ってみて走らせてみて納得できなかったらダメ。そんな自分が15年たつてようやく理解されてきたのでしよう。それが信頼の芽となって、『これなら坂本のところへ持ってみよう、相談してみよう』となる。そうした期待にこちらがまた頑張るといった具合でしようか」へ坂本マリンさん

んのもットーは「迅速修理」、それを合言葉に平均年齢23歳というヤングトリオ(西山さん・田中さん・山田さん)の技術サービスマンが坂本さんを盛りたててます。

「ウチは営業はやらないんです」と冗談まじりに話す坂本さんの言葉は「なんでも自分で実践して、納得したものでなければお客さまに勧めない」といった信念に裏づけされているようです。



坂本 巧さん。35歳という若さでスタッフの方々には「兄貴」のように親われていて、チームワークも抜群です。



# W-35AF



## "さらに充実した大型和船"づくりへ 全員がスクラム

W-32F-I、W-35Fの代替艇として熊本県・有明地区のマリンストアさんの期待を担うW-35AF。その試乗会が、ノリ養殖シーズンを目前にひかえた7月30日から1週間にわたっておこなわれました。

熊本県下の長浜・天明・長部田・四番・河内・滑石の6ヶ所で実施された試乗会は、どの会場でも試乗時間が満潮時をはさんだ前後2時間に限られたため、その間に来場者が集中、漁師さんは、アサリ採りやノリ養殖の準備にと忙しい時期を迎えるときですが、新しいパートナーをこの目で確かめようとする一方で熱気のあるものとなりました。

舳いをとかれたW-35AFがゆっくりと岸を離れると、漁師さんたちは交替で舵を握り、その性能をからだ全体で点検するかのようにカーブを切り、スロットルを調節したりしています。また、2~3人が片舷に寄って船の傾き具合を調べるなど、チェックも入念。

「箱船もラクに載せられるしスピードも充分、舵ききもいい。格好もいいしネ」とは参加した漁師さんのおおかたのご感想でした。W-35AFの評価はなかなか上々のようです。

●  
有明のノリ養殖、アサリ採りに活躍してきたW-32F-I、W-35Fをボリュームでも性能でも上まわる大型和船として登場したこのW-35AF、その誕生の発端は、漁師さんたちのニーズをしっかりとつかみとり、それをかたちにしようとしたマリンストアさんたちのパワーにあるといえるでしょう。そしてそのパワーが注がれたW-35AFは、その高性能ぶりを数値の上でも見事に証明しています。

まず艇体では2.16mという全幅を生かして積載量がアップ、そして最大保証馬力は150馬力を確保しテスト走航では70馬力2基掛けで32.0ノット、150馬力1基掛けで34.2ノット

と、スピード性能も十分です。また後進性もよく、ULトランサム(特醸)の採用も可能で、それにより後進時の水かぶりも少なく、大型船外機でも楽にチルトマップが可能になりました。試乗会がおこなわれた浜では、「これは究極の大型和船だね」との漁師さんの声が聞かれるほどの性能を示したW-35AF、この他その自慢のいくつかをあげてみました。

①最大積載量=1730kg ②広いフロア=7.80×1.90m ③大型ハッチ=700×500mm  
④船ネコと艀ヒップアップで玄人好みのスタイリング ⑤さらに特醸としてイクスなどのオプション、沖での長時間にわたる作業にも便利な簡易トイレも試作中です。

こうした数々の特長を備えたW-35AF、1週間にわたっておこなわれた試乗会の評価をもとに、8月初めにヤマハ熊本で最終的な会議が開かれました。漁師さんの声を設計スタッフに伝え、よりよい和船にするための会議です。

「漁師さんの声、マリンストアさんの声に応えるためにしっかりしたものを造っていきましょう」とは設計担当の方々。ノリ養殖シーズンを前にして、大型和船W-35AFに熱い期待が寄せられています。



1週間にわたっておこなわれた試乗会のあと開かれた現地プレゼンテーションでは、ヤマハ熊本の担当セールス、W-35AFの設計担当者を囲み、熱心な討議が交わされました。



## 展示艇は最も有効な“看板”

△坂本マリンさんの店舗はショールーム×20坪、工場×100坪、駐車場を兼ねた展示場×120坪の合計300坪です。〃人(客)が集まる店にしたい〃という坂本さんの展望には、この展示場が大きな役割りを果たしています。

「道路沿いに並べた船は大きな看板よりも効果的です。漁師さんには船や船外機のことを思い出させるし、新艇を展示しておけば必ず目に止まります」と展示場の効果を話してくれました。また展示場をつくったことによつて、いわゆる飛び込みで入ってくるプレジヤールのお客さまが増加したそうで、これから

はそちらにも力を注いでゆく方針です。

●  
W-35AFは漁師さんの期待を背負っているよ進水、ノリ養殖の準備に入る直前の7月30日から熊本県下の6ヶ所で試乗会が開催されました。

「W-35Fに比べてもそれに勝る運動性能を確保したうえで、積載量や安定性もアップ、期待どおりの、いやそれ以上の和船だと思います。〃これなら〃という自信をもって売り込めますね」と力強く語る坂本さん、新型和船W-35AFに大きな期待がこめられます。

海をわたる風もいっそう秋めいて、ディンギーセラーには本格的なレースシーズン、そして釣り天狗たちにはフィッシングコンテストと、マリナーやピーチは夏にもまして活気づく季節を向えました。今回はそうしたマリナーイベントとホットな話題をお届けしましょう。

## 87ヤマハポートフィッシングコンテスト 今年は長崎へご招待



日1日と秋の気配がしのびより、陽ざしを照り返すポートのウエーキにもどことなく冷たさを感じられるシーズンになりました。今年で10回目を迎える「ヤマハポートフィッシングコンテスト」も、9月に入っていよいよ大づめを迎え、各地からも釣果の報告が続々と届いています。

みなさまの地区ではいかがでしょうか。お客さま方をぜひお誘いいたしますよう、重ねてご案内いたします。

- 主催/ポートヤマハ会 ●後援/ヤマハ発動機株
- 期間/昭和62年5月1日～10月31日
- 参加規定

- 参加資格: 漁業従事者を除くすべての人。(競技対象は小学生以上)
- 競技種目: 総重量の部・指名魚総重量の部・指名魚大物の部。
- 参加申込方法: ハガキか、電話で。官製ハガキに、参加艇名、オーナー名、同乗者名、性別、年齢、住所、電話番号を明記の上、締切日までに各地区ポートヤマハ会ポートフィッシングコンテスト係までお送りください。なお、大会実施の詳細については、追ってご連絡申し上げます。

- 今年から入賞のチャンスが広がりました。競技種目を3部門に

総重量の部	釣れた魚の総重量
指名魚の部	指定された魚の総重量
指名魚大物の部	指名魚、一匹の長さ

- 長崎ビッグフィッシングツアー(2泊3日)に、抽選で32名様ご招待。異国情緒あふれる長崎観光と、フィッシングを一度に楽しんでもらうビッグなツアー。



## ヤマハディンギーの祭典 今年はいよいよ江の島で

### 第13回ヤマハヨットウィークin江の島

ヤマハディンギー各クラスの全日本選手権であるヤマハヨットウィークが、全国持ちまわり転戦式になって初めて、神奈川県・江の島で開催されます。

「第13回ヤマハヨットウィークin江の島」では、シカール、ミニホッパー、シーラーク、シーマーチンなど7クラスの全日本と「87シーホッパー級ゴールドカップ」としてシーホッパー級のレースがおこなわれ、各クラスのチャンピオンの座をかけて、YSAの北海道・東北・関東・中部・関西・中国・四国・九州の8支部の代表選手が競うものです。

ヤマハディンギーセラーの年に一度のビッグイベント、「第13回ヤマハヨットウィークin江の島」にご声援ください。

- 日時/昭和62年11月1日～3日
- 会場/江の島ヨットハーバー(神奈川県)
- 大会内容/第11回シカール級全日本選手権  
第9回ミニホッパー級全日本選手権  
第9回シーラーク級全日本選手権  
第7回シーマーチン級全日本選手権  
第5回シーマーチンスループ級全日本選手権  
第5回シースパイダー級全日本選手権  
第5回シーファルコン級全日本選手権  
87シーホッパー級ゴールドカップ

## 1991年アメリカズ・カップへ熱い気運 ニッポンチャレンジ旗上げパーティ

世界のヨットファンのみならず、TV映像によってお茶の間の人々をも興奮の渦にまきこんだ「87アメリカズ・カップ」は、まだ記憶に新しいところですが、その至高のヨットレースに遂に日本からも挑戦する時代になりました。NORC(日本外洋帆走協会)をエントリークラブとする「ニッポンチャレンジアメリカ杯1991委員会」(会長/山崎達光氏日本外洋帆走協会理事・S&B食品社長/副会長江口秀人氏 日本舟艇工業界会長/ヤマハ発動機社長)の国内における旗上げパーティが、東京・帝国ホテルにおいて8月7日盛大に開かれました。

当日は、駐日アメリカ大使のマンズフィールド氏や、ニュージーランド大使が来賓としてアメリカズ・カップへの日本挑戦を歓迎する挨拶をのべたのを始めとして、NORC会長の石原慎太郎氏、日本ヨット協会、草の根応援団の木村太郎氏(NHKのNC9のキャスター)など、多彩な顔ぶれがそろいました。

また、これまでのオフィシャルスポンサー、サプライヤー(オフィシャルスポンサー(17社)、オフィシャルサプライヤー)4社)も一堂に集まり1991年へ向けて本格的な参加表明を披露したものです。



ニッポンチャレンジの主要クルーには、小松(ヤマハ東東マリン企画室)、庄崎、花岡(東京マリン企画室)、ロバート、南波、箱守(ヤマハ海洋普及室)、といったそうそうたるメンバーがそろいました。このほか艇の設計にあたっては、ヤマハのチーフデザイナー 蒲谷勝治がコーディネイトにあたるなど、「ニッポンチャレンジアメリカ杯1991」を全面的に支援しております。今後みなさまのご理解とご声援をお願いいたします。

## オフショアポート界をリードする ヤマハMYシリーズ、6号艇誕生!

このたび瀬戸内海に浮ぶ淡路島のリゾートホテル「あなが」のVIP用ポートとして進水した6号艇「アンチーム」は、美しいラインがもした豪華さと、ウッドにまとめたインテリアがグレート感をきわだたせるハイテクオフショアポート。メインキャビンは洋上でお客さまがくつろげる広いスペース、FBでは、大海原をじっくりと見渡せる眺望の良さ、爽快な走りを満喫できます。

さしくも完成直後の鳴門大橋をバックに走るMY-50#6「アンチーム」の勇姿は、またまた日本の海に話題を投げかけることでしょう。



# ドラマは海から。

新発売

## '88ヤマハ新艇8モデル12艇種

'88ボートシーズンに向けこのヤマハの新艇は、多目的に楽しめるセイリングディンギーから、外洋フィッシング用の大型パワーボートまで「8モデル12バリエーション」です。

余暇の充実やヘルシーライフ志向などで、さまざまなスポーツが再認識されている現在、行政面での強力なバックアップもあって、特にマリンスポーツが脚光を浴びています。来る'88年はマリンスポーツのいっそうの躍進が期待される年となるでしょう。

そのような背景のなかで、初めてマリンスポーツに取り組む人は、より簡単に楽しめる入門艇を求め、すでにマリンスポーツを楽しんでいる人は、その楽しみかたにより適した本格艇への移行が進んでいるようです。

こうした市場ニーズの多様化、個性化に対応して、それぞれ用途に応じて開発した'88ヤマハ新艇は、その性能、居住性、装備品、スタイリング、カラーリングなどをさらに充実した、一層魅力的な商品となっています。

ピュアフィッシングボートの誕生

## YAMAHA <sup>タックル</sup> Tackle-23-23DX



主要諸元 ●全長 7.00m ●全幅 2.40m ●全深さ 1.02m ●総トン数 5 トン未満 ●船体重量 655kg、680kg(DX)  
●呼称最大馬力 90PS × 1/2 ●連続最大馬力 90PS × 1/2 ●燃料タンク容量 24ℓ × 3 ●航行区域 限定沿海 ●定員 10名  
カラーリング ●ハル/ホワイト&ブルー-II、(DX) ホワイト&ダークレッド+白ラインテープ ●デッキ/スモークホワイト

釣りを楽しむ人びとのために、特に釣り機能を重視して開発された新艇です。

優れた走行性、静止時も走行時も変わらない快適な乗り心地、また保管に便利な浜ずわりも出来ることなどから、釣り人に信頼の高い和船船型を採用しています。

広い釣りスペースを可能にしたオープンデッキ、モダンで機能的な中央キャビンなど、釣り人の立場から考えた、また新しいフィッシングボートが誕生しました。

TACKLE-23には、標準型とデラックス仕様の二つのバリエーションがあります。

### ★主な特徴

①浜ずわり、高い直進性、安定した旋回性などを可能にする、スケグ付きフラットキールの和船船型を採用。軽荷状態で30ノットの高速を発揮(90PS × 1、50PS × 2)

②仮眠に、雨やどりに、大型物入れにも利用できる、採光窓付き多目的な中央キャビン。上部にウィンドシールド、艀装やメンテナンスに便利な分離型ダッシュボードを採用しています。

③浅めの乾舷、長いオープンデッキによって中央キャビンの前後に十分な釣りスペースを確保。フラットなパウデッキ、中央キャビン両舷の通路などで、船内の移動もスムーズ。

④船外機の2基掛けもできる幅広なモーターウェル、船尾にはオプションで燃料タンク(100ℓ)の設置も可能です。

⑤パウレール(DXでは標準)、ハンドレールを機能的に配置、安全に考慮。豊富なオプション装備品を用意しています。

90馬力船外機との対応で高性能を発揮

## YAMAHA LS-20SS



20フィートクラスでは最大の船幅、このクラスではマキシマムに近いキャビン。キャビンとコックピットの間をフリースルーにすることで一体感をもたせるなど、すぐれた居住性と軽快な操縦性に定評のあるファミリークルーザー。

ヤマハLS-20SSは、90馬力船外機とのマッチングで高性能を発揮します。

### ★主な特徴

- ①船体はスピード性能、ブレーニング性能にすぐれ、20フィートクラスでは最大の船幅を誇るヤマハLS-20シリーズそのまま。
- ②90馬力船外機とのマッチングで30ノットの高速を発揮。
- ③キャビンとコックピットとの間をフリースルーにすることによって、両者に一体感を持たせています。
- ④シート類やパウレールなどの仕様を一部変更し、ハルの塗り分けを廃止するなど、シンプル化をはかるとともに、よりスポーツ性を強調しています。

**主要諸元** ●全長6.17m ●全幅2.48m ●全深さ1.25m ●総トン数 5トン未満 ●船体重量 900kg ●呼称最大馬力140PS×1 ●連続最大馬力140PS×1 ●燃料タンク容量 180ℓ、航行区域 限定沿海 ●定員 9名

**カラーリング** ●ハル/ホワイト ●デッキ/ボアホワイト&ミディアムオリーブグレー

家族や仲間たちを誘ってフィッシングやボーティングの楽しめるポートとして、また、女性の釣りファンが増加している現状などから、居住性を重視した、高性能でスタイリッシュなニューフィッシングポートシリーズに、また、新しい仲間が加わりました。

デラックスなキャビン、独立したトイレスペース、機能的なギャレスペースなどは、ゆうに1クラス上のポートにまさるものです。ヤマハFISH-25には、船外機搭載のO/B、ハードトップ(H/T)付きで船外機搭載のO/BHT、船内外機搭載のI/O HTと、3つのバリエーションがあります。

### ★主な特徴

①走りに定評あるヤマハFISH-24をベースに開発した、スタイリッシュなニューデザイン船型は特に凌波性に優れ、高馬力エンジン(O/B 175馬力、I/O 210馬力)搭載によりさらに高速性を発揮します。

②ゆうに26フィートクラスのポートにまさるデラックスなキャビン、独立したトイレスペース。物入れにも、アイスボックスにも使える機能的なギャレスペース。

家族で使う場合にも安心感のある深いコックピット。ドライバーとナビゲーターのシートはダンパー向きデラックスシートを標準装備

ニューヤマハフィッシングポート

## YAMAHA FISH-25<sup>O/B HT</sup><sub>I/O HT</sub>



●写真はFISH-25O/B

(O/Bタイプではナビゲーターシートはオプション)。魚探やロランの設置スペースもある新設計のダッシュボード。通風と採光に機能的なスライド式コンパニオンハッチ。充実したタックル収納スペース。

③広くフラットなデッキにはロングタイプの分割式パウレールを採用、ドッグハウス前方の傾斜にはノンスリップパターンを取り付けるなど安全性に配慮

⑤十分な視界と楽な移動を考慮してフルヘッドタイプのハードトップを採用(O/B HT、I/O HT)。スライド式のサイドウィンド、オプションのルーフエアインテークなどにより、ハードトップ内の採光、通風は十分。

**主要諸元** ●全長7.57m ●全幅2.62m ●全深さ1.36m ●総トン数5トン未満 ●船体重量1,070kg(O/B)、1,170kg(O/B HT、I/O HT) ●呼称最大馬力 90PS×2(O/B、O/B HT) ●連続最大馬力 90PS×2(O/B、O/B HT) ●燃料タンク容量175ℓ ●航行区域 限定沿海 ●定員12名

**カラーリング** ●ハル/(O/B) ホワイト+赤テーパー(O/B HT、I/O HT) ホワイト&ダークオリーブグレー ●デッキ(O/B、O/B HT、I/O HT) スモークホワイト&ミディアムオリーブグレー



●写真はFISH-25 I/O HT



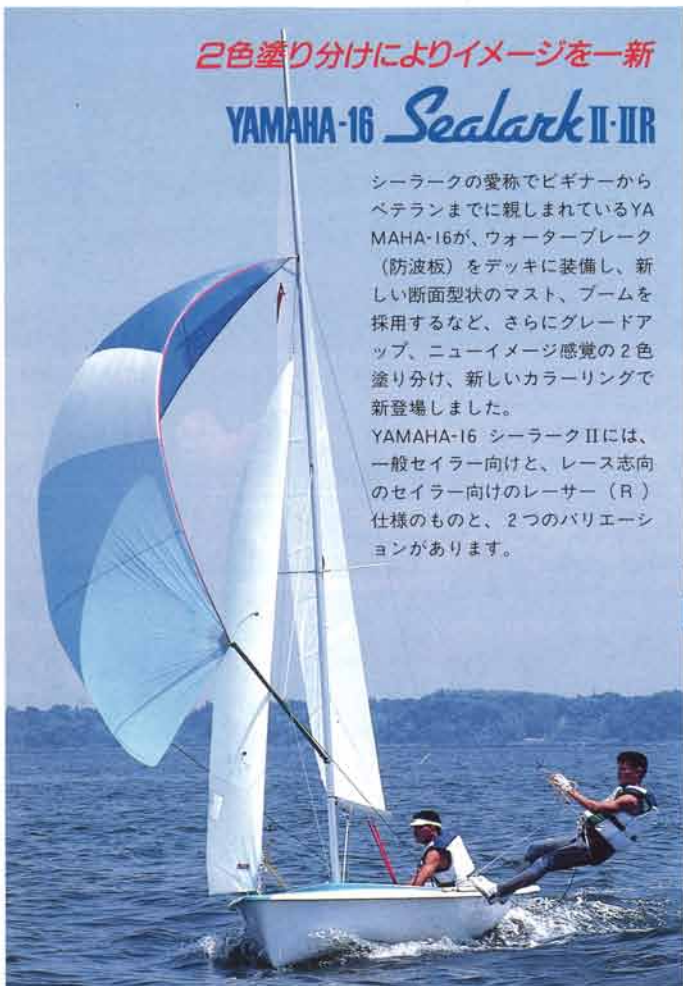
# ドラマは海から。

2色塗り分けによりイメージを一新

## YAMAHA-16 Sealark II-IR

シーラークの愛称でビギナーからベテランまでに親しまれているYAMAHA-16が、ウォーターブレイク（防波板）をデッキに装備し、新しい断面形状のマスト、ブームを採用するなど、さらにグレードアップ、ニューイメージ感覚の2色塗り分け、新しいカラーリングで新登場しました。

YAMAHA-16 シーラークIIには、一般セイラー向けと、レース志向のセイラー向けのレーサー（R）仕様のもと、2つのバリエーションがあります。



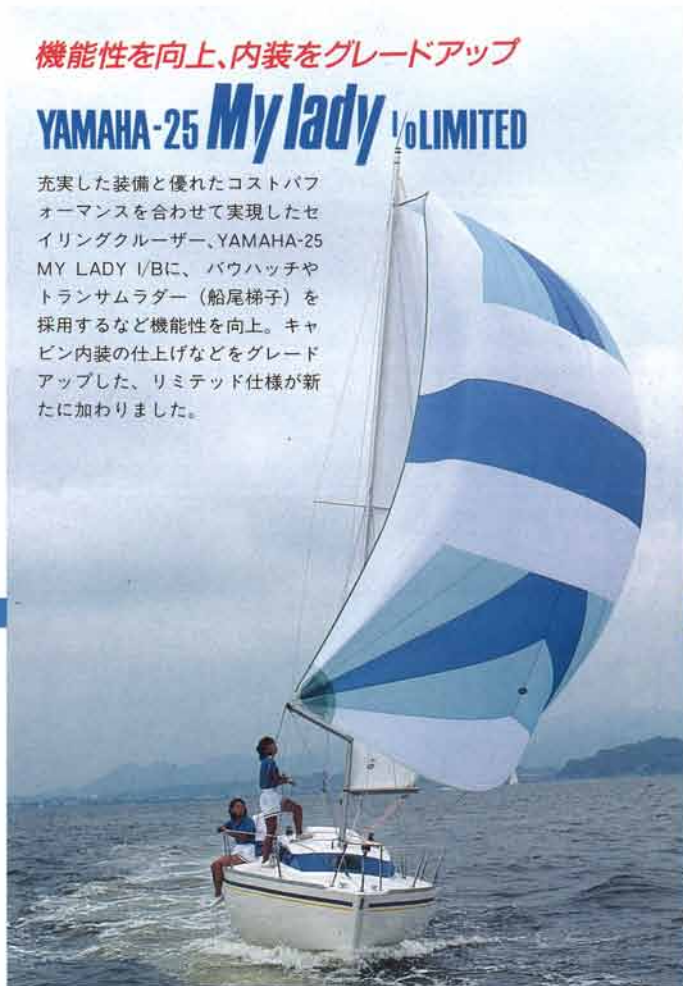
**主要諸元** ●全長4.95m ●全幅1.79m ●全深さ1.05m、センターボードを上げたときは0.15m ●全セイル面積12.50㎡ ●船体重量144kg（II）、146kg（II R）

**カラーリング** ●ハル/ホワイト ●デッキ/ホワイト+ターコイズブルーライト

機能性を向上、内装をグレードアップ

## YAMAHA-25 My lady 1/0 LIMITED

充実した装備と優れたコストパフォーマンスを合わせて実現したセイリングクルーザー、YAMAHA-25 MY LADY I/Bに、パウハッチやトランサムラダー（船尾梯子）を採用するなど機能性を向上。キャビン内装の仕上げなどをグレードアップした、リミテッド仕様が新たに加わりました。



**主要諸元** ●全長7.49m ●全幅2.74m ●全深さ1.26m ●総トン数5トン未満 ●船体重量1,610kg ●全セイル面積24.56㎡ ●呼称最大馬力9PS×1 ●連続最大馬力8PS×1 ●燃料タンク容量20ℓ ●航行区域 沿海 ●定員10名（平水）

**カラーリング** ●ハル/ポーラホワイト&レモンイエロー+コーラルブルーテープ ●デッキ/ポーラホワイト&ブルーII

ゆったりと釣りに打ち込むなら

## YAMAHA UW-25DF-DH

25フィートでゆったりと釣りを楽しめるボートです。最大で90馬力の船外機が搭載可能。安定性と凌波性に優れた船型とあいまって、俊敏な走りを実現します。

標準型のDF、イクス付きのDHの2タイプ。

**主要諸元** ●全長7.52m ●全幅2.06m ●全深さ0.77m ●船体重量560kg（DF）、610kg（DH） ●最大積載量1,240kg（DF）、1,190kg（DH） ●呼称最大馬力 マニツル90PS×1 ●連続最大馬力 マニツル80馬力 ●航行区域 限定沿海 ●定員11名

**カラーリング** ●ハル外装/ホワイト/ネイビーブルー ●内装/マイルドブルー ●フロア/マイルドブルー



●写真はUW-25DF

# ヤマハは海から。



ヤマハFR-27の船外機搭載モデルです。しかも、船尾よりさらに後方に突き出したブラケットに船外機を装着する、ギル社製ブラケットを採用したことで、高速性・低振動を確保しました。

**主要諸元** ●全長7.96m ●全幅2.80m ●全深さ1.40m ●総トン数 5トン未満 ●船体重量1,880kg ●呼称最大馬力 175PS×1 ●連続最大馬力 175PS×1 ●燃料タンク容量 270ℓ ●航行区域 沿海 ●定員10名 **カラーリング** ●ハル/ポーラホワイト&ダークオリーブグレー ●デッキ/スモークホワイト&ミディアムオリーブグレー&チャコールグレー&ダークオリーブグレー (アフトデッキ)



多目的に利用できるクルーザーとして好評のヤマハPC-26に、サロンの採光面積を増大するなどの居住性と、フライングブリッジにスライディングシートを採用するなど装備品の一部をさらに向上したモデルとして新発売します。

**主要諸元** ●全長7.95m ●全幅2.92m ●全深さ1.53m ●総トン数 5トン未満 ●船体重量2,000kg ●呼称最大馬力190PS×2 ●連続最大馬力148PS×1 ●燃料タンク容量 380ℓ ●航行区域 沿海 ●定員11名 **カラーリング** ●ハル/①ポーラホワイト&ダークオリーブグレー②ポーラホワイト&ネイビーブルー ●デッキ/スモークホワイト&チャコールグレー ●フライングブリッジ/ハルに同じ

## 小型船外機に求められる機能満載。 充実のラインナップ

軽量でいっそうコンパクトに

単気筒シリーズ・**3A NEW**



2B、4AS(AC)、5CS(C)の三機種に3Aが加わってラインナップがますます充実しました。そして単気筒シリーズの4機種は、軽さに加えて、180度折り曲げ可能なステアリングハンドルを装備していっそうコンパクトになり、可搬性が一段と向上しました。

新機種3Aにはカウリング下部にリアハンドルを装着、後進時のステアリング補助、運搬や船体への取り付け作業がいっそう簡単に行なえるようになりました。

ねばり強さと安定パワーが自慢

2気筒シリーズ・**20D・25N NEW**



20、25馬力はツインキャブの採用によって、出力性能、トローリング性能、さらに燃費も向上。しかも、いっそうの軽量・コンパクト化を実現させています。

さらに2段式の浅瀬走行装置を採用。また冷却水吸入口の位置を従来のものより下げ、浅瀬走行時にもより確実に冷却機能を果たします。そしてマニュアルハンドルモデルは、シフトハンドルを前側に配置したことで、前進・中立・後進の操作がいっそう楽になりました。



福島 船だまりの一部をプレジャーボートの有料保管場に

福島県相馬市松川浦岩ノ子 藤商会さん

千余年の伝統を守りつづける勇壮な野馬追い祭りや民謡・相馬盆唄で全国に知られる福島県相馬市。その東端にあり、砂嘴によって太平洋と隔たる潟湖・松川浦は、アサリ採りやノリ養殖を営む漁師さんたちの漁場であるとともに、相馬市やその南の町々、さらに仙台方面に住むボート釣リ愛好者にとって格好な遊び場、また、ボート保管場となっています。

漁師さんとボート釣リファンの両方を顧客として、11年前にここ松川浦の中央部岩ノ子に「藤商会」を開業した藤巻建二さん(40歳)は昨年の11月、店舗兼サービス工場を新築。ヤマハマリン商品の販売にますます力を入れています。

お店のすぐ前が岩ノ子漁協の人々の船だまりで、ここにはW18、19クラスの和船が120隻ほど保管されていますが、その一角に、同店のレジャー客の釣リボートが約60隻保管されています。

藤巻さんは開業以前から地元の漁師さんと組合と好ましい関係を築くことにとめてきました。そして船だまりの一部を自店のレジャー客のボート保管場として使わせてもらえるようにしました。お客さまたちは組合に年間3万円を納めることによってここにボートを置くことができます。

「開業後3、4年は、顧客リストの大半は漁師さんたちでしたが、いまでは台数で半半、金額ではレジャー客の方が圧倒的に多くなっています。釣リボートの代替(大型化)は順調ですが、置き場が飽和状態になってきました。新しいお客さまをつくり販売隻数をさらに増やすためには、保管スペースをもっと広げていかねばなりません。組合ともその相談をしていますが、組合も前向きに取り組んでくれていま



左から、以前はお店のお客さまで昨年からサービス担当の従業員となった志賀正彦さん、藤巻さん、奥さまのふく子さん。

一階の店舗。



二階の和室。早朝から釣りに出のお客さまたちが寝泊りできる。



レジャー客のボート約60隻が保管される岩ノ子の船だまり。

「すので、近いうちに実現できると思います」と藤巻さん。

免許教室・講習会、早朝出港の

お客さまは宿泊用に…多目的和室が好評

●お客さまたちにくつろいでもらえるお店に、●マリ用品、部品も陳列してその売り上げアップを…と店舗を新築しました。

400坪の敷地に建つ新店舗の建坪は20坪。二階建てで、一階はサービス工場(17坪)と店舗(3坪)。二階は事務室(3坪)、応接室(2.5坪)、給湯室、トイレと15畳の和室。同店では各種普及活動にも積極的に取り組んでいます。魚探などの講習会を開催する時にはその教室として使用。また、同店のお客さまたちはこの部屋の鍵をそれぞれ持っており、朝早くから釣りに出る時などは夜間に来店し、ここで寝泊りできるようになっています。

北海道

それぞれの役目をキッチリと

北海道礼文郡礼文町 小坂商店さん



〈小坂商店〉勢ぞろい。左から、佐野さん・大宮さん・博さん・小坂さんのそれぞれのご家族です。

北緯45度18分、オホーツク海と日本海のま  
ん中に浮かび、日本最北端に位置する礼文島。  
〈小坂商店〉さんのお店は、礼文島の表玄関  
である香深港から歩いて一分とかならないと  
ころにあります。鉄工所と船舶の関連商品を  
扱う店を始めたのは昭和31年のことです。以  
来31年、店主の小坂和夫さん（67歳）は着々  
と足固めを続け、島内でのヤマハ船外機のシ  
ェアは8割という高さを保ち続けています。  
礼文島では6・8月のウニ、7月半ばから  
9月半ばまでのコンブ漁、そしてワカメとアワ  
ビ漁が主な漁種です。周囲72kmで南北に細長  
いこの島の西側はほとんどが険しい崖で、港

湾は東岸側に多くあります。  
〈小坂商店〉さんはご主人の小坂和夫さん  
（67歳）が受注・コスト計算・経理、ご長男  
の博さん（36歳）が営業、そしてエンジン専  
任のサービスとして佐野さん（工場長）、お得意  
さまの経理を奥さまのふくさんと若奥さまの  
洋子さんがそれぞれ担当しています。  
「自分の役割りをきちんと果たし次の人に  
継いでゆく、営業もサービスもその気持ちにな  
ら変わりはありません」とご長男の博さん。  
これから店を背負ってゆく二代目は力強く話  
してくれました。



香深港近くの小湾に並ぶ和船、独特な艇の形にヤマハ船外機が頼もし気です。

4月に開店、マリッジットを4台も販売  
新しいマリッジット・スポーツの普及に燃える

今年4月、千葉県銚市南町保田の海水浴場の  
すぐ近くに「ポバイ・マリッジット・サービ  
ス」を開店した川崎清さん（39）は、かつて千葉県  
を代表するサーファー。この春までは同じ保  
田で「川崎鉄工所」をお兄さんとともに経営  
してきましたが、地元保田や館山などに新し  
いマリッジット・スポーツのお客さまたち  
をと独立、おしゃれな「プロショップ」を開  
店しました。

主に釣りをといた年輩の人々には「ヘッ  
プ20」などを中心に、また、水上スキーやラ  
ンナバウトをいった若い人々には「ヘスター  
エースV」などを中心におすすめてレジャ  
ー客を開拓中の川崎さんですが、それ以上  
力を入れているのが「マリッジット」の普  
及です。同店ではすでに「HMJ500T」を  
4台販売しており、「500Sのお客ももうす  
ぐ…」とのこと。

お店を手伝う能城さん、500Tのお客さま、  
奥さまの和江さん、川崎さん(右)



〈500T〉が置かれた店内でお客さまと談笑する川崎さん(中)

保田は東京方面の人々にも人気のある海岸  
で夏には大勢の海水浴客が訪れます。川崎さ  
んはこの春、安全には十分に留意した上で、海  
水浴客を意識したマリッジットのデモン  
ストレーションを再三行ないましたが、その反響、  
人気はたいへんなもの。お店には若い人々が  
続々と訪れ、「レンタルはしてくるのか」  
「ぜひ乗ってみたい」……。また、海水浴客  
がそれぞれ帰ってからの電話による問い合わせ  
も殺到。「ボート免許はもっていますか」  
「なければまず免許をとってもらわないと」  
と川崎さんはその対応に大わらわ。  
「地元のお客さんたちにも、ボート免許を  
取っていただくことが当面の最も大切な仕事」  
と、川崎さんは、館山市や木更津で開催され  
るヤマハボート免許教室にお客さまたちをこ  
案内しています。

千葉県安房郡銚市南町保田  
ポバイ・マリッジット・サービス 川崎清さん

北海道 二代目を育てる方法教えてください

北海道利尻町鷺泊 丸善ワタナベさん

利尻富士の愛称どおりに、富士山に似た秀

て巖装や修理をやってきました。その積み重



利尻島の西岸にある杓形港と利尻富士。利尻の港はどこも延拓工事がおこなわれていました。

麗な姿が印象的な利尻山。高さ1,091mのこの山は、利尻島を一周する環状道路のどこからも眺めることができ、それぞれに違った表情で楽しませてくれます。

円形のこの島には、北に鷺泊港、東に鬼脇港、南に仙法志港、西に杓形港の4つの主な港湾があって、W-26 BFR、W-24 CFRなどの和船とJ-21 B R、J-22 Cといった磯漁の船がずらりと並んでいます。

「島では約1,000名の漁師さんがいます。実は昭和37年ごろまでは私もその一人だったんです」と語るのは、株式会社 丸善ワタナベの渡辺 真社長です。

鷺泊港にほど近いところにあるへ丸善ワタナベさんが船外機や和船を扱い始めてからすでに20年がたちます。「使う人の身になっ

## 北海道 バイクライダーのイベントで マリッジジェット試乗会



バイク雑誌の編集者を対照とした試乗会をおこなうなど、マリッジジェットはマリンスポーツファンの拡大の新戦力として大いに注目を集めてきました。

この夏におこなわれた87 YESSサマーフェスティバルの北海道ブロックでは、マリッジジェットの体験試乗会を洞爺湖であわせて開催。ライフジャケットに身を包んだ二輪ライダーの方々は大はしゃぎ、湖面を自由自在に走るマリッジジェットのスピードと運動性能をたっぷり楽しんだようでした。

ねがお客さまの信頼を集めてきたといえるでしょう」と渡辺さんは胸を張ります。渡辺さんのモットーは「やり直しようかなことはするな」だそうです。「私が漁師をしていたということもありますが、機械や船が好きで始めた仕事ですからね、それはみんなにも徹底しています。お客さま——漁師さんに迷惑をかけちゃいけませんよ」とサービス第一を強調します。



く丸善ワタナベのスタッフのみなさん。後列中央が渡辺社長。

## 遊びどころで味わいたい「海のある食卓」シリーズ



その名も「海のある食卓」。山陰の海でとれた新鮮なウニを冷凍乾燥、アオノリ、ワサビ、白ゴマなどを加え風味満点のシーフード!? シリーズが登場。  
へうにめしは「ご飯にまぜて、へうに茶漬はご飯にのせて、熱いお茶をかけたいただくもので、この他、辛子明太子茶漬、萩ぶしなどがある。山口県萩市にある明治4年創業という老舗がつくっているだけに、なかなかの味をだしている。

ウニニはんのおにぎり、洋上ランチをちよつと演出してみたいかがでしょうか? お問い合わせ・井上商店 ☎08382(2)0812

## いつでもOK、最新釣り情報

情報サービス企業として知られるNTTとニューメディア・マインドという会社が手を組み、「釣り情報」の提供サービスが始められました。  
これはNTTのキャプテンアダプターを使ったもので、アダプターを備えていれば、入会金¥5,000と月々¥1,500の使用料さえ支払えば誰でも受けられるというものです。釣りに関するあらゆる情報が、電話とテレビ画面を通じて何時でも得られるというのですから、多忙な現代人にはピッタリかもしれません。

提供される主な情報項目は、①釣りのポイント図②今週の穴場情報(天気予報ま





## 航行区域が平水・限定沿海の船舶にも 《信号紅炎》の備え付けが義務づけられます

航行中の船舶が事故や遭難を起したとき、付近の船舶や航空機などに事故の発生を知らせ救助を求めるのに使われる〈小型船舶用信号紅炎〉の備え付けが、平水区域・限定沿海区域を航行区域とする小型船舶と小型第一種漁船にも義務づけられることになりました。

これは8月8日の小型船舶安全規則および小型漁船安全規則の改正によるもので、これまでは船舶用火工品（自己発煙信号・火せん・自己点火燈など）を備えていなかった船も10

月1日より、船舶検査時までには備え付けが義務づけられるというものです。

●  
ぜひお客さまがたに〈信号紅炎〉の備え付けが義務づけられたことをご説明いただき、安全のためにもお早めに備えることをおすすめください。

※なお10月（予定）より平水・限定沿海向けの小型船舶用〈信号紅炎〉を発売いたします。（価格未定）

「'87-'88秋冬のテーマカラーはブラウン・オレンジ・イエロー  
ロゴマークやイラストもふんだんに

ご期待ください『ヤマハマリンウェア』



ハードウェアにファッションウェアに広く好評をいただいている〈ヤマハマリンウェア〉。1987-88秋冬コレクションも勢ぞろいし、ますます人気を集めています。

秋冬のテーマカラーはブラウン・オレンジ・イエロー、それにロゴマークや楽しいイラストをふんだんに使いヤマハ独自のマリンウェアの世界をつくりあげています。機能面はもちろん、カラフルにファッションブルにますます広がる〈ヤマハマリンウェア〉にご注目ください。

### 新刊紹介 マリンレジャーへのパスポート④

#### 『小型船舶操縦士免許のとり方』

ヤマハ発動機(株)安全普及室・編著  
ナツメ社・刊

受験ガイドから科目別レッスン、実技試験対策まで、イラストをたくさんつけてやさしく解説、6月発売以来「たいへん分かり易い」とたくさんの声をいただいております。みなさまのご商売にもぜひお役立てください。



## 『ヤマハらくらくクレジット』 がますます便利に！

これまでたくさんのお客さま方にご利用いただいていた『ヤマハらくらくクレジット』が、ますます使いやすくなりました。これは昨今の低金利傾向に対応したもので、『ヤマハらくらくクレジット』の料率も引き下げられ、お客さまにとってまた一段とご利用いただきやすくなったものです。

とくに均等払いコースは、所要資金100万円までが一本化され、実質年率も返済回数

によって15.75%~23.75%であったものが、3~50万円未満と50万~100万円未満の2本立てとなり、金利も50万円未満で一律13%、100万円未満で11~12%と大幅に引き下げられています。

●  
どうぞこの金利引き下げによる新しい『ヤマハらくらくクレジット』のシステムをお客さまにご説明のうえ、積極的なご活用をおすすめください。

### ●らくらくクレジット

現行		改訂	
コース	実質年率	コース	実質年率
100万円未満	15.75~23.75%	3~50万円未満	13.0%
		50~100万円未満	11.0~12.0%
100~300万円未満	12.75~14.00%	100~300万円未満	9.5%
300~5千万円未満	11.75~12.25%	300~5千万円未満	9.0%

### ●漁期払いクレジット

現行	改訂
1%+(0.6%×経過月数)	1%+(0.5%×経過月数)

### ●ボーナス払いコース

	現行	改訂
ボーナス一括払い	3.0%	2.5%
ボーナス二括払い	5.0%	5.0%

### ●取扱信販会社一覧

- ★東京総合信用(株)
- ★日本総合信用(株)
- ★(株)ライフ
- ★(株)ジャックス
- ★(株)オリエントファイナンス
- ★日本信販(株)
- ★(株)セントラルファイナンス
- ★国内信販(株)
- ★シャープファイナンス(株)  
(願不同)

# 新商品、新戦略で'88シーズンへGO!!

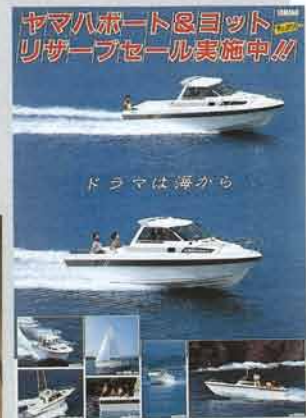
## '88ヤマハボート&ヨットリザーブセール

### ご利用ください販促ツール



天高く馬肥ゆる秋を迎え  
 海を渡る風も  
 めっきりと爽やかさをまてきました。  
 イベントにあげくれた夏のシーズンも終り  
 ホットする間もなく  
 来シーズンへの立上りに余念のない時期  
 「'88ヤマハボート&ヨットリザーブセール」を  
 お店の販促活動の柱として展開し  
 来年への確かな足固めをきついでください。  
 ヤマハが用意しましたキャンペーン用ツールも  
 マリンスポーツ讃歌の基本的な考え方を  
 グラフィックにまとめました。  
 新商品、新戦略、  
 そしてお店ならではの新企画の三位一体の  
 販促ツールとして、どうぞご利用ください。

▶告知ポスター〈商品編〉



▼告知ポスター〈イメージ編〉



キャンペーンの告知を目的として店頭などに露出してください。

#### ●'88ニューモデルガイドカタログ



'88ニューモデルの数々と、ラインアップを一堂に紹介したハンディな商品ガイドです。

#### ●プレミアムポスターカレンダー



'88新艇を含めた店頭展示、また展示会などへご来場の方に記念としてお渡しください。

# 大物の手応えだ。

## '88ニューモデル待望のフィッシングボート YAMAHA <sup>タックル</sup> Tackle-23・23DX



と、驚くほどの本格派ピュアフィッシングボートが誕生しました。  
名づけて YAMAHA Tackle-23・23DX。  
釣りマニア納得の本格装備を、ホリウム感あふれる船体に満載。  
ワイドな釣りスペース、多目的に使えるキャビン、豊富な物入れなどなど。  
さらに、すぐれた走行性・安定性も自慢のひとつ。  
高性能エンジンとのマッチングで  
ポイント移動もバワフル&スピーディに行なえます。しかも、  
まさに大物を予感させるこの一艇を、らくらくプライズで実現。  
どうやら釣果はウデではなくて、  
フネが決める時代がやってきたようです。

### Tackle-23 テレビCMに登場

'88ニューモデルラインナップのなかでも発表以来大いに注目を集めているのが「Tackle-23」。このニューボートの商業フィルムが完成、いよいよこの秋にオンエアされます。あの服部名人が登場する「Tackle-23」のCMは「沖は良い鯛」と名づけられ、服部名人の名演技がなかなかの評判です。どうぞお楽しみに。



Tackle-23 テレビCM  
〈沖は良い鯛〉30秒



Tackle-23で大物を釣りあげたボートフィッシャーマン：「名人——ノオカはどうですかあー」



突進にいる服部名人：「フーン、沖はいいよな、沖は……」



ナレーション：ウテよりフネだ！「ヤマハフィッシングボート タックル23！」

#### ●主要諸元

タイプ	仕様	全長 (m)	全幅 (m)	全深さ (m)	船体重量 (kg)	呼称最大馬力 (ps)	連続最大馬力 (ps)	燃料タンク容量 (ℓ)	定員 (名)	航行区域
Tackle-23		7.00	2.40	1.02	655	90・50×2	90・50×2	24×3<携行缶>	10	限定沿海
Tackle-23DX		7.00	2.40	1.02	680	90・50×2	90・50×2	24×3<携行缶>	10	限定沿海

●本仕様は改良のために予告なく変更されることがあります。●製品のカラーは印刷の関係で実物と異なって見えることがあります。●写真の中にはオプション装備品を含むことがあります。●製品をお買い上げの際は取扱説明書をよくお読みください。

海はスポーツ新大陸  
**YAMAHA**  
ヤマハ発動機株式会社